

石造宝台寺五輪塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうほうだいじごりんとう
所在地	新見市金谷
指定年月日	昭和33年4月10日
解説	元徳2年(1330)の造立。花崗岩製。総高1.51m。水輪はほぼ球形に近く、笠(火輪)の軒先は厚く、隅で垂直に切るといこの時代の典型の形を示している。基礎(地輪)の正面に、銘文を刻んでいる。この五輪塔がある宝台寺には、源頼朝が家臣の梶原景時に命じて本堂を建立させ寄進したという伝承が伝わっており、この五輪塔は俗に「梶原の塚」と呼ばれている。
アクセス方法	
公開状況	外観のみ
設備	
備考	